

■殺虫剤：芝用

有機リン系

シヨットガン®

成分 ダイアジノン……40.0%
物理的・化学的性状 類白色乳濁液体

登録番号 : 20091
毒 性 : 劇物
消 防 法 : 一
有効年限 : 3年

包装 : 1ℓ×15

◆特 長

- 水に乳化分散しているため有機溶媒がほとんどなく臭いが少なく、使いやすい製剤です。
- 広い範囲の害虫に適用があります。
- 主に接触毒、食毒効果により作用しますが、ダイアジノンの蒸気圧は高いのでガス効果としての作用もあります。

◆適用と使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	ダイアジノンを含む 農薬の総使用回数	
ね ぎ わ け ぎ	ネギアザミウマ	1,000倍	200ℓ/10a	収穫21日前 まで	2回 以内	散布	2回以内	
あ さ つ き				収穫30日前 まで				
た ま ね ぎ			200~300ℓ/10a	収穫21日前 まで				
茶	クワシロカイガラムシ		1,000ℓ/10a	最終摘採後 ~12月まで	1回			1回
芝	シバツトガ		0.3ℓ/m ²	発生初期	4回 以内			4回以内
	スジキリヨトウ		3ℓ/m ²					
	シバオサゾウムシ成虫	—						
さ く ら	アメリカシロヒトリ	—	—	—	—			
つ つ じ 類	ツツジゲンバイ	0.15~0.3ℓ/m ²	—	2回 以内	2回以内			

ラベルをよく読み、ラベルの記載以外には使用しないで下さい。

◆注意事項

- (1)使用量に合わせ薬液を調製し、使い切ること。
- (2)貯蔵中に分離することがあるので、使用直前に容器をよく振って使用すること。
- (3)本剤の散布薬液は希釈調製後できるだけ速やかに使用すること。
- (4)コガネムシ類幼虫防除には散布液が土壌中に十分しみこむように散布し、シバツトガ、スジキリヨトウ、シバオサゾウムシの防除には芝表面、地際にまきおらないように散布すること。
- (5)ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
 - ①ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにすること。

- ②関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。
- (6) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
 - (7) 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
 - (8) 取扱い及び保管上の注意、漏出時の措置、廃棄上の注意、輸送上の注意、火災時の措置については、11ページ、12ページを参照すること。

◆安全使用上の注意

- (1) 医薬用外劇物。取扱いには十分注意すること。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせること。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けること。
- (2) 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗すること。
- (3) 散布の際は防護マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用すること。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換すること。
- (4) 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- (5) かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- (6) 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。

◆魚毒性

- (1) 水産動植物（甲殻類、ドジョウ、ボラ）に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。比較的低濃度でも魚が平衡失調等を起こすので、養殖池等周辺での使用は避けること。
- (2) 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。